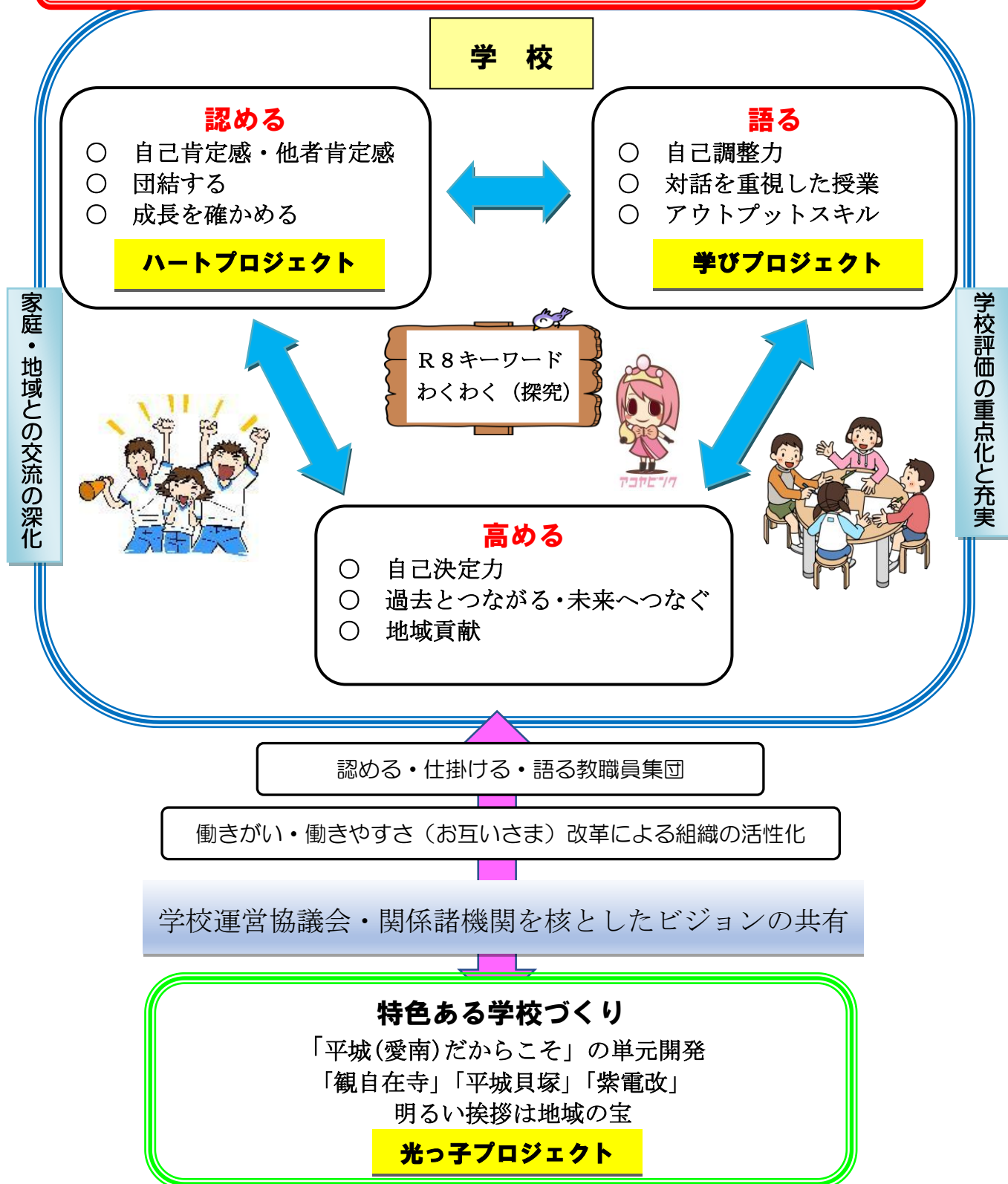


教育目標：認め、語り合い、高め合う児童の育成



重点目標	1 自己肯定感・他者肯定感を高める教育の推進 全教育活動において、「自己調整力」や「自己決定力」を身に付けさせることを重視し、「自己肯定感・他者肯定感」の高い集団形成を図る。 2 対話を重視した授業展開の工夫 支持的風土の下、アナログとデジタルをよりよく調整しながら「語り合い」の場を設定し、多様な考えに触れながら深い学びを実現する。 3 地域素材を活用した教育活動の充実 地域素材を活用した探究的な学習や体験的な学習を充実させることにより、地域を身近に感じ、ふるさとに誇りを持つ心情を育てる。 4 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化及び業務改善 (1) 「同僚から学ぶ」「仲間のためにアウトプットする」ことによって信頼関係を構築し、親和型教職員集団を形成する。 (2) 児童と全力で向き合い、「仕掛ける」ことや「語る」ことによって、児童が探究したいと思う「わくわく！」を創造する。 (3) 全教職員参画による日常業務・教育活動の見直しを行い、個々がゆとりを生み出すルーティンを確立し、グループ研修や個人研修の時間を確保する。
管理運営	1 人的管理 (1) 全教職員が服務規律を遵守し、教育公務員としての立場を自覚して行動し、愛媛の教職員としての信用保持に努める。 (2) マイ「ライフ・ワーク・バランス」を意識した働き方を推奨し、教職員の家庭状況等に配慮した「お互いさま」の職場風土を醸成する。 2 物的管理 (1) 教育環境の計画的な整備・充実と、施設・設備の効果的な活用や安全管理の徹底に努める。 (2) 家庭や地域、関係諸機関と連携し、児童や教職員の生命を守る組織的な危機管理体制を構築する。 3 事務管理 (1) トリプルチェックを徹底し、適切で迅速な事務処理を行う。 (2) 情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報等の適切な保管・管理や、特に著作権やSNSに関して適切な取り扱いを徹底する。 (3) 統合型校務支援システムやICTを効果的に活用し、共同学校事務室との連携を密して、事務処理の適正化・効率化を図る。
本校教育の特色	1 総合的な学習の時間や生活科を中心に、教科横断的な「平城(愛南)だからこそ」の単元開発を行い、児童が主体的に探究する学習活動を推進する。 2 「過去とつながる、未来へつなぐ平城小学校」をキーワードに、貢献とつながりを重視した児童参画の学校行事等を実践し、母校やふるさとを愛する心情を育てる。 3 通学路安全マップをアップデートし、交通安全に関する活動を核とした安全教育を推進する。また、「PTA交通安全宣言」を継続採択し、保護者と連携した交通安全に関する啓発を行う。